

平成28年度 第5回 WEBアンケート 調査報告書

「消防の認知度」

消防局予防部予防課

目次

WEBアンケート調査結果	ページ
・ 「消防の認知度」	・・・ 1
・ 選択肢:その他()	・・・ 5

回答者属性

回答者数	566人
------	------

性別		
男	295	52.1%
女	267	47.2%
未回答	4	0.7%
計	566	100.0%

職業		
会社員	197	34.8%
自営・自由業	32	5.7%
パート・アルバイト	76	13.4%
公務員	25	4.4%
学生	3	0.5%
専業主婦・主夫	117	20.7%
無職	97	17.1%
その他	19	3.4%
計	566	100.0%

年代		
～10代	0	0.0%
20代	19	3.4%
30代	105	18.6%
40代	192	33.9%
50代	94	16.6%
60代	79	14.0%
70代以上	77	13.6%
計	566	100.0%

居住区		
中央区	137	24.2%
花見川区	84	14.8%
稲毛区	85	15.0%
若葉区	93	16.4%
緑区	60	10.6%
美浜区	107	18.9%
計	566	100.0%

WEBアンケート調査結果

1 調査名	「消防の認知度」
2 調査期間	平成28年 8月 1日 午前10時 ~ 同月10日午後 5時
3 回答者数	566 人

※割合(%)は複数選択の設問や、小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。

概要:

消防(救急・救助・防災を含む)の活動に対する認知度をお聞かせいただき、今後の消防広報活動や各種施策に活用させていただきます。
【参考URL】 http://www.city.chiba.jp/shobo/yobo/yobo/index.html

Q1: イベント情報や生活に役立つ情報等※は何から得ていますか。
※市や消防のことに限りません

(いくつでも)(入力必須)

テレビ	284	16.8%
ラジオ	82	4.9%
市政だより	444	26.3%
ホームページ	319	18.9%
フェイスブック	74	4.4%
ツイッター	101	6.0%
ライン	42	2.5%
フリーペーパー(広告収入を元に無料で配布される印刷媒体)	195	11.5%
回覧板	132	7.8%
その他() ※ 5ページ参照	17	1.0%
計	1,690	100.0%

Q2: 消防は「身近な頼れる存在」となっていますか。

(1つだけ)(入力必須)

はい → Q4へ	400	70.7%
いいえ	42	7.4%
どちらとも言えない	124	21.9%
計	566	100.0%

Q3: Q2で「いいえ」「どちらとも言えない」と回答した方にお聞きします。
その理由は何ですか。

(1つだけ)

関わった際に、頼りにならなかった	4	2.4%
何となく、頼りなく感じる	9	5.4%
何をやっているか見えない	98	59.0%
その他() ※ 5ページ参照	44	26.5%
未回答	11	6.6%
計	166	100.0%

Q4: 消防の活動や取組みについて、理解および協力することができますか。
例:救命講習の受講、防災訓練への参加、消火栓付近に駐車しない等

(1つだけ)(入力必須)

積極的にやっている → Q6へ	67	11.8%
今できる範囲で行っている → Q6へ	311	54.9%
いつか行いたい	171	30.2%
行いたくない	17	3.0%
計	566	100.0%

- Q5: Q4で「いつか行いたい」「行いたくない」と回答した方にお聞きします。
現状、理解および協力できない理由は何ですか。

(1つだけ)

余裕がない	66	35.1%
何をしたらよいかわからない	92	48.9%
興味がない	13	6.9%
その他() ※ 6ページ参照	16	8.5%
未回答	1	0.5%
計	188	100.0%

- Q6: 消防団※は地域の頼れる存在ですか。
※ 消防組織法に基づいて各市町村に設置される、一般市民で団員が構成される消防機関。消防職員と違い、他に本業(学生は学業)を持っている。

(1つだけ)(入力必須)

はい	216	38.2%
いいえ	71	12.5%
どちらとも言えない	279	49.3%
計	566	100.0%

- Q7: 消防団に期待する活動は何ですか。

(3つまで)

救助・救急活動	334	19.5%
消火活動	298	17.4%
火災予防活動(春・秋予防運動、年末警戒等)	162	9.5%
連続火災等における警戒警備	145	8.5%
震災時における避難誘導	261	15.3%
震災時における避難所運営	171	10.0%
風水害時における警戒・広報活動	117	6.8%
自主防災訓練時等における応急手当講習	62	3.6%
自主防災訓練時等における防災講習	85	5.0%
他の地域活動(地域住民に対する協力、地域イベントへの参加等)	61	3.6%
その他() ※ 7ページ参照	13	0.8%
計	1,709	100.0%

- Q8: 震災時の電気火災に効果的とされる「感震ブレーカー※」を知っていましたか。
※ 感震ブレーカーとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に、「配線用ブレーカーまたは漏電ブレーカー等」を遮断する器具。

(1つだけ)(入力必須)

知っていた	196	34.6%
名前は知っていた → Q10へ	260	45.9%
知らなかった → Q10へ	110	19.4%
計	566	100.0%

- Q9: Q8で「知っていた」と回答した方にお聞きします。
感震ブレーカーには分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプと様々なタイプのものがあり機能もそれぞれ異なりますが、設置するとしたらどのタイプですか。

【分電盤タイプ】分電盤に、揺れを感知し全ての電気を遮断する機能を持たせるタイプ
(1)内蔵型:工事必要、5~8万円程度※
(2)後付型:工事必要、2万円程度※

【コンセントタイプ】個別コンセントの電気を遮断するタイプ。
(1)差し込み型:工事不要、5千円程度※
(2)埋め込み型:工事必要、2万円程度※

【簡易タイプ】一定の揺れによりブレーカーに取り付けた「おもり」が落下するなどして全ての電気を遮断するタイプ、工事不要、3~4千円程度※

※価格は本体価格

(1つだけ)

分電盤タイプ(内蔵型)	34	17.3%
分電盤タイプ(後付型)	59	30.1%
コンセントタイプ(差し込み型)	25	12.8%
コンセントタイプ(埋め込み型)	2	1.0%
簡易タイプ	72	36.7%
未回答	4	2.0%
計	196	100.0%

- Q10: 消防法令違反(特に重大な消防用設備※の設置義務違反)のある建物を市ホームページ等に公開する「違反対象物の公表制度」を知っていましたか。
※ ①屋内消火栓、②スプリンクラー、③自動火災報知、④避難器具(ただし、特定一階段等防火対象物に限る。)

(1つだけ)(入力必須)

知っていた	81	14.3%
名前だけは知っていた	62	11.0%
知らなかった	423	74.7%
計	566	100.0%

- Q11: 「違反対象物の公表制度」に関する市ホームページを閲覧したことはありますか。また、興味はありますか。

(1つだけ)(入力必須)

閲覧したことがあり、興味もある	33	5.8%
閲覧したことはあるが、興味はない	12	2.1%
閲覧したことはないが、興味はある	439	77.6%
閲覧したこともなく、興味もない	82	14.5%
計	566	100.0%

- Q12: 消防法令違反のある建物の情報を、仕事や生活の中で参考にしたいですか。

(1つだけ)(入力必須)

参考にしたい	500	88.3%
参考にしたくない	66	11.7%
計	566	100.0%

- Q13: ホテル・旅館等に対する「表示制度」※を知っていましたか。
 ※ 消防機関が消防法令等の基準に適合していると認めたホテルや旅館等に対して表示マークを交付する制度

(1つだけ)(入力必須)

知っていた	253	44.7%
知らなかったが、表示マークは見たことがある	78	13.8%
知らなかった	235	41.5%
計	566	100.0%

- Q14: 自治会や会社等で防火防災訓練や本市消防局主催の防火防災イベント等に参加したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)

ある	327	57.8%
ない → Q16へ	239	42.2%
計	566	100.0%

- Q15: Q14で「ある」と回答した方にお聞きします。
 参加したことがあるものは何ですか。

(いくつでも)

避難訓練	225	31.7%
消火訓練	238	33.5%
応急手当訓練(AEDの取扱い、心臓マッサージ等)	212	29.9%
市政出前講座(住宅防火対策、火災原因の調査と類似火災予防等)	20	2.8%
その他() ※ 7ページ参照	15	2.1%
計	710	100.0%

- Q16: 「住宅用火災警報器」は電子部品の寿命により火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換が必要となることを知っていましたか。また、今後交換する予定はありますか。

(1つだけ)(入力必須)

知っており、交換する予定(既に交換済み)	199	35.2%
知っていたが、交換する予定はない	100	17.7%
知らなかったが、交換する予定	146	25.8%
知らなかったし、交換する予定もない	121	21.4%
計	566	100.0%

選択肢:その他()

Q1: イベント情報や生活に役立つ情報等※は何から得ていますか。
※市や消防のことに限りません

公民館や図書館など公的施設に設置されているチラシや広報紙。道の駅に設置されているチラシ類。……(他 2件)
熊谷市長のTwitterが興味深く面白くてよく見てイベントをチェックしています。
雑誌 地域のコミュニティセンターなどの張り紙 幼稚園でもらってくるチラシ
インターネットで検索して地域のイベントを調べています。……(他 1件)
文化ホールを自分でまわり情報収集する。
家族……(他 1件)
学校からのおたより
子育て支援センター
メールなど
友達から
消防署
新聞
生協

Q3: 消防は「身近な頼れる存在」となっていますか。
→「いいえ」「どちらでもない」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか。

子供がいる家庭は、見学や体験等で何らかの関わりを持つ事が出来るかもしれませんが、きっかけが無く分かっていません。 消防署の前を通った時に、訓練されてる事、や見学の子供達に説明してるのは良く見ます。 地域の防災訓練も、参加出来ない時もあります。 個人で救命講習は受講しています。 幸いな事に、まだ消防署にお世話になった事ありません。
大きな事柄でないと安易に頼ってはいけないと感じています。頼りにしていますが、あまり身近には感じていません。
身近に感じる機会はありませんが、消防署の近くを通る際に、訓練や準備風景を見ると、安心します。
訓練の公開を見学したことはありますが、実際にお世話になったことはないのどちらとも言えません。
関わった時はすごく頼もしかったが、関わるのが非常に希なため、「身近な」と言う感覚が無い。
関わったことがあまり無いので、身近とは思えないし、頼れるのかどうかもよくわからない。
関わったことが無いので「身近」という感覚はない。……(他 5件)
ほとんど関わったことがないため、わからない。……(他 4件)

イベントでは見かけるけど、実際お世話になった事がないので。
自身や近隣でお世話になったことがない(見聞していない)。
頼れるが身近には思えない。……(他 4件)
関わったことがない。……(他 16件)
頼れる?と聞かれると大して。
よくわからない。
近所がない。

Q5: 消防の活動や取組みについて、理解および協力することができますか。例:救命講習の受講、防災訓練への参加、消火栓付近に駐車しない等
→「いつか行いたい」「行いたくない」と回答した方にお聞きします。
現状、理解および協力できない理由は何ですか。

演奏会で満席になった際、消防法のため階段に座れないと言われ、他の対処がなされなかった。消防法で階段に座れないなら、来場したお客さんに演奏を楽しんでもらうために、その際どのような対処をすべきか会館のスタッフに浸透していない。お客さんが会場で演奏を楽しんでもらうことより、まず消防法ありきになっている。まず来場したお客さんに演奏を楽しんでもらうことを第一に考えるのが会館のスタッフの役目だと思う。
いつどこでやってるか知らない。……(他 2件)
始めるきっかけがなかった。……(他 1件)
情報が少なすぎる。(開催日時など)
日程が合わない。……(他 3件)
意識的に考えたことがない。
身体不自由であるから。
時間と機会がない。
疲れてしまう。
高齢のため。

Q7: 消防団に期待する活動は何ですか。

本当に消防団は必要なのか?その制度に行政が甘えているだけではないのか? 消防法令違反について自由記述欄がないのでここで。 つるしあげして行政はなにが楽しい? 建物の持ち主に改善してもらうまできちんと納得いく説明と指導をするのが行政じゃないのか? つるしあげ→人寄りつかない→売り上げ減→改善予算立たず→改善できず→つるしあげ…の繰り返しで しょ?
消防団に期待する、または期待できそうなもの無。町内自治会等がその役割を担っており、消防団の存在 意義があるのか。少なくとも費用対効果を考えればなくしたほうが良い。
救助・救急活動、消火活動、年に2回も火災報知機の検査は多すぎると思う。法令を改訂すべき。 ここで、云う事ではないかもしれないが、書くところが無いので。
恥ずかしながら消防団が地域に存在するかを知らないの(町内の自治会館で防災講習などはやっていますが)、 なんともいえません。
女性消防団しかなく、少人数で大きな期待はできない。
組織の有無、活動自体を知らない。……(他 2件)
地域に消防団が無い。……(他 2件)
近くにないので、どうとも言えない。
治安・親しみやすさ

自治会や会社等で防火防災訓練や本市消防局主催の防火防災イベント等に参加したことがありますか。
Q15: →「ある」と回答した方にお聞きします。参加したことがあるものは何ですか。

防災訓練、自治会が開催したものに、消防の方も来られていました。
行政が行う講習に参加して、いくつかの修了証を取得している。
起震車、はしご車に体験乗車しました。
移動前の地域自治会で参加した。
簡易トイレ(ダンボール)作成
消防フェア、救急フェア
初期消火大会への参加
合同の避難所にて訓練
自治会の防災会議
地震車、煙体験
防火管理者講習
消防署見学会
操法の応援
防災訓練
起震車